

## 「子どもの権利フェスティバル2005」の開催について

わが国が平成6年に「子どもの権利条約」を批准して10年が経ち、この間、国や地方において子どもの権利を保障していくための取り組みが進められてきております。

札幌市においても、まずは、市民に条約を知ってもらうことが大切であると考え、パンフレットの配布やパネル展の開催、大人を対象とした「子どもの権利を考えるフォーラム」の開催など、さまざまな普及・啓発活動を行ってきました。

今後は、広く市民議論を交えながら、子どもの権利が守られる社会づくりを目指し、平成18年度中の「(仮称)札幌市子どもの権利条例」制定に向けた取り組みを進めていきたいと考えており、そのためには、子どもの身近な環境において、条約をどのように生かしていくのか、子どもと大人と一緒に考える機会が必要であると考えております。

そこで今回は、すべての子どもが夢や希望を持ちながら幸せに生きるという条約の基本理念を踏まえ、家族や友達といった大切な人を思う気持ちや相手を尊重する心をはぐくむとともに、子どもと大人の良好な関係を考える機会として、「子どもの権利フェスティバル2005～みんな大切なひとり～」を開催します。

### 1 日時

平成17年3月21日(月・祝)13:30~15:30(開場13:00)

### 2 会場

共済ホール(中央区北4条西1丁目 共済ビル6階)

地下鉄東豊線さっぽろ駅から徒歩3分、地下鉄南北線さっぽろ駅・JR札幌駅から徒歩5分

### 3 定員・費用

650人・無料(満員の場合は入場をご遠慮いただく場合があります。)

### 4 プログラム

(1) 劇団ひまわりの子どもたちによる合唱(13:30~14:00)

舞台劇「コルチャック先生」から4曲程度

(2) 女優の中嶋朋子さんによる物語の朗読(14:00~14:30)

(3) 子どもと大人の良好な関係を考えるフォーラム(14:30~15:30)

キーワード:「子どもにとっての最善の利益」

《コーディネーター》

うちだ しんや  
内田 信也さん(弁護士)

札幌弁護士会子どもの権利委員会委員長

《パネリスト》

なかじま ともこ  
中嶋 朋子さん(女優)

テレビドラマ「北の国から」の螢役で一躍有名に。現在は一児の母でもあり、子育てや女性・環境・自然に関する講演やフォーラム等にも精力的に活動している。

うえだ ふみお  
上田 文雄(札幌市長)

市内の小中学生6人

- 5 申し込み  
不要（直接会場へお越しください。）
- 6 同時開催  
「子どもの権利パネル展」（13：00～15：30、共済ホールロビー）
- 7 主催  
札幌市、道央人権啓発活動ネットワーク協議会
- 8 事業協力  
札幌市教育委員会
- 9 後援  
札幌法務局、札幌人権擁護委員連合会、札幌市青少年育成委員会連絡協議会、札幌市 P T A 協議会、札幌弁護士会
- 10 「（仮称）札幌市子どもの権利条例」制定に向けた今後の取り組みについて  
市民手作りによる条例案の作成を進めるため、現在、札幌市子どもの権利条例制定検討委員会の委員を募集しております。  
委員になられた方には、子どもを含めた市民の意見の取りまとめや、啓発活動に取り組んでいただき、条例の素案を作っていただきます。  
なお、募集要領は次のとおりです。  
応募資格：市内在住の18歳以上の方で、少なくとも月1回の会議出席のほか、市民への聞き取り調査の実施、各種研修会の主催といった活動にも力を貸していただける方  
募集人員：10人程度（総数は、子ども・有識者を含め、20～25人程度を予定）  
任 期：委嘱日から答申まで（平成17年4月から平成18年6月ごろまでの予定）  
応募方法： 名前 性別 年齢 職業 住所 電話番号（またはEメールアドレス）を記入の上、現在の札幌市の子どもの現状および子どもの権利についての考えを1,000字程度にまとめた小論文を提出（郵送・持参・Eメールいずれも可）  
締め切り：平成17年2月28日（月）（必着）  
選考方法：小論文の内容、年齢、性別などのバランスを考慮して決定（応募者多数の場合は、2次選考として面接もさせていただく場合があります。）

**【問い合わせ先】**

子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課  
（フェスティバル担当：嶋影・高井）  
（条例制定検討委員会担当：齊藤・藤原）

電話 211-2942